



はじめに

『Cisco Nexus 1000V ハイ アベイラビリティおよび冗長性コンフィギュレーションガイド、リリース 4.0(4)SV1(3)』では、組み込み High Availability (HA; ハイ アベイラビリティ) および冗長性機能がシステム内での障害 (ハードウェアおよびソフトウェア) の影響を抑える方法について説明します。

この章の構成は次のとおりです。

- 「対象読者」 (P.vii)
- 「マニュアルの構成」 (P.vii)
- 「表記法」 (P.viii)
- 「関連資料」 (P.viii)
- 「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」 (P.x)

対象読者

このガイドは次の経験と知識を持つネットワーク管理者向けです。

- 仮想化の知識
- VMware ツールを使用して vswitch を設定できること



(注) VMware vNetwork Distributed Switch の知識は前提条件ではありません。

マニュアルの構成

このマニュアルの構成は、次のとおりです。

章とタイトル	説明
第 1 章「概要」	ハイ アベイラビリティ機能を概説します。
第 2 章「サービスレベルハイ アベイラビリティの理解」	サービスレベルハイ アベイラビリティについて説明し、再起動を行います。
第 3 章「システムレベルハイ アベイラビリティの設定」	システムとアプリケーションのハイ アベイラビリティについて設定し、再起動を行います。

表記法

このマニュアルでは、次の表記法を使用しています。



(注)

「注釈」です。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。



注意

「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。



ヒント

「問題解決に役立つ情報」です。

コマンドの説明では、次の表記法を使用しています。

表記法	説明
太字	コマンドおよびキーワードは太字で示しています。
イタリック体	ユーザが値を指定する引数は、イタリック体で示しています。
[]	角カッコの中の要素は、省略可能です。
[x y z]	どれか 1 つを選択できる省略可能なキーワードは、角カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
string	引用符を付けない一組の文字。 string の前後には引用符を使用しません。引用符を使用すると、その引用符も含めて string とみなされます。

出力例では、次の表記法を使用しています。

screen フォント	スイッチが表示する端末セッションおよび情報は、 screen フォントで示しています。
太字の screen フォント	ユーザが入力しなければならない情報は、太字の screen フォントで示しています。
イタリック体の <i>screen</i> フォント	ユーザが値を指定する引数は、イタリック体の screen フォントで示しています。
<>	パスワードなどの出力されない文字は、山カッコで囲んで示しています。
[]	システム プロンプトに対するデフォルトの応答は、角カッコで囲んで示しています。
!, #	コードの先頭に感嘆符 (!) または番号記号 (#) がある場合は、コメント行であることを示します。

関連資料

次に、Cisco Nexus 1000 の関連資料を示します (Cisco.com で入手可能)。

一般情報

『Cisco Nexus 1000V Release Notes, Release 4.0(4)SV1(3)』

『Cisco Nexus 1000V Compatibility Information, Release 4.0(4)SV1(3)』

『Cisco Nexus 1010 Management Software Release Notes, Release 4.0(4)SP1(1)』

インストール & アップグレード

『Cisco Nexus 1000V Software Installation Guide, Release 4.0(4)SV1(3)』

『Cisco Nexus 1000V Software Upgrade Guide, Release 4.0(4)SV1(3)』

『Cisco Nexus 1000V Virtual Ethernet Module Software Installation Guide, Release 4.0(4)SV1(3)』

『Cisco Nexus 1010 Virtual Services Appliance Installation Guide』

コンフィギュレーション

『Cisco Nexus 1000V License Configuration Guide, Release 4.0(4)SV1(3)』

『Cisco Nexus 1000V Getting Started Guide, Release 4.0(4)SV1(3)』

『Cisco Nexus 1000V ハイ アベイラビリティおよび冗長性コンフィギュレーションガイド、リリース 4.0(4)SV1(3)』

『Cisco Nexus 1000V Interface Configuration Guide, Release 4.0(4)SV1(3)』

『Cisco Nexus 1000V Layer 2 Switching Configuration Guide, Release 4.0(4)SV1(3)』

『Cisco Nexus 1000V Port Profile Configuration Guide, Release 4.0(4)SV1(3)』

『Cisco Nexus 1000V Quality of Service Configuration Guide, Release 4.0(4)SV1(3)』

『Cisco Nexus 1000V Security Configuration Guide, Release 4.0(4)SV1(3)』

『Cisco Nexus 1000V System Management Configuration Guide, Release 4.0(4)SV1(3)』

『Cisco Nexus 1010 Software Configuration Guide, Release 4.0(4)SP1(1)』

プログラミング

『Cisco Nexus 1000V XML API User Guide, Release 4.0(4)SV1(3)』

リファレンス

『Cisco Nexus 1000V Command Reference, Release 4.0(4)SV1(3)』

『Cisco Nexus 1000V MIB Quick Reference』

『Cisco Nexus 1010 Command Reference, Release 4.0(4)SP1(1)』

トラブルシューティング & アラート

『Cisco Nexus 1000V Troubleshooting Guide, Release 4.0(4)SV1(3)』

『Cisco Nexus 1000V Password Recovery Guide』

『Cisco NX-OS System Messages Reference』

Network Analysis Module の関連資料

『Cisco Network Analysis Module Software Documentation Guide, 4.2』

『Cisco Nexus 1010 Network Analysis Module Installation and Configuration Note, 4.2』

『Cisco Network Analysis Module Command Reference Guide, 4.2』

『Cisco Network Analysis Module Virtual Blades User Guide, 4.2』

『Cisco Network Analysis Module Software Release Notes, 4.2』

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。